



2010~2011年度
中津平成週報
Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010~2011年度
国際ロータリー・テーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 永松 浩 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30
例会場/グランプラザ中津ホテル TEL.0979-24-7111
事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F
TEL.0979-22-9716 FAX 0979-22-9722
e-mail office@n-heisei.org
<http://www.n-heisei.org/>

第1010回例会 平成23年1月27日(木)

- 本日の例会プログラム ゲスト卓話「東九州龍谷高校」
バレー部 大木総監督
- 次回例会プログラム ゲスト卓話「やかた田舎の学校について」
部長 屋形 徹氏



前回(1009回例会)の記録
平成23年1月20日(木)

<p>■ゲスト 中津市役所総務部企画課 秋吉常博 課長</p> <p>■ビジター 中野登君 (中津RC) 山本洋一郎君 (中津RC)</p>	<p>■出席報告 会 員 数 25名 免 除 者 数 1名 対 象 者 数 24名 本日出席者 20名 欠 席 者 数 4名 出 席 率 83.33%</p>
--	--

■前々回出席報告の修正
前々回欠席者 3名
メイクアップ 3名
欠 席 者 0名
修正出席率 87.50%→ **100%**

- メイクアップ
矢頭(中津RC)、熊谷(中津RC)、渡邊(中津RC)
- 欠席者
なし

◎ロータリーソング 我等の生業

◎会長の時間 会長 青木秀暢

毎日毎日寒い日が続きます。その中でも今日は1年で最も寒い大寒の日です。

先日は大学のセンター試験があり、この大分県でも大雪による道路凍結で朝の集合時間にぎりぎり間に合ったというような新聞記事が載っていましたが、全国的にはまだまだ沢山寒さによる事故があるのではと思われる。私などの時代はセンター試験などなかったので経験はないのですが、単純に私などは試験の日をずらしたらと思う昨今です。少なくとも天候の為や体調の心配が削減され、より集中して試験に臨めるのではと思うのです。私だけがこのように思うのでしょうか？ 政治の世界では、なんでこんな人が大臣になるのだらうと思える等、何でもありが許されているような気がします。

暗い新聞記事ばかりだけでなく、明るい話としては、皆



様もご存知の「タイガーマスク・伊達直人」現象です。大変心温まる出来事です。私ども平成RCも奉仕の原点に立ち返り、日々活動したいものだと思います。

◎幹事報告 矢頭元幹事

- 例会変更 宇佐八幡RC
- 週報受理 熊本平成RC、竹田RC
- 各クラブ周年式典参加のお願い
・大分中央RC (2/20) ・豊後高田RC (3/26) ・玖珠RC (5/15) ・宇佐2001RC (5/15)
- 年次大会出欠記入のお願い
- RC手続き要覧購入のお願い



◎例会の食事メニュー 天婦羅御膳



◎委員会報告

・出席委員会 梶原委員長

来週は、ゲスト卓話で「東九州龍谷高校」バレー部 大木総監督をお招きします。多くの出席をお願いします。先ほど発表がありました各クラブへの周年式典への出席も是非よろしくお願いたします。

◎ニコニコボックス 担当:クラブ管理運営委員会

○川崎会員

先週グアムへ行ってまいりました。年甲斐も無く、プールで足を怪我してしまいました。日本が雪の中を出発して、帰ってきてからもまた雪でした。気温差が約30℃ほどありましたので、体調も気をつけたいと思います。

○岡野会員

先週名札を持って帰りましてご迷惑かけました。

○永松(達)会員

昨年12月には、ゴルフ大会で2回優勝しました。12月でゴルフの運を使い切ったのではないかと考えています。

○二反田会員

先週のニコニコで財布に持ち合わせがありませんでしたので、あらためて今日いたします。

○辛嶋会員

先週の土曜日に永年学校歯科医の表彰が大分でしたが、風邪がひどく、出席できませんでした。後に当日は国道も凍り付いて、事故も多かったと聞きました。出かけるのを控えて正解だったかなと思っています。

○若松会員

末の娘が成人式を迎えました。家内が着た着物を40年ぶりに出して、同じ写真館で写真撮影をしましたが、着物の色が当時よりも鮮やかになっていると言われ驚いています。

◎ゲスト卓話

「中津市ふれあい出前講座」

---中津市の目指す将来都市

中津市役所総務部企画課

秋吉常博 課長



第四次中津市総合計画

平成17年3月1日に中津市、三光村、本耶馬溪町、耶馬溪町、山国町の1市3町1村が合併し、人口86,000人を有する新しい中津市が誕生しました。

21世紀を迎え、近年の地方自治体を取り巻く社会経済情勢は、地域医療の崩壊、少子高齢化の進行、地球規模での環境問題、高度情報化、地方分権の推進など、大きな変革の時代に直面しています。本市においては合併して早3年となりますが、1市3町1村の速やかな一体性を促進し、新市の均衡ある発展と地域福祉の向上を計っているところ

であります。

こうした状況を踏まえ、今後10年間における市の発展の方向性を示すため、市民の皆様のご意見をいただきながら市政運営の基本方針となる「第四次中津市総合計画」を策定しました。

この計画は、平成30年度を目標年次とし、将来都市像を〈山国川の「みず」と耶馬の「もり」のめぐみを受け、「ひと」が育ち、癒され、たゆみなく「もの」がうまれる、「人にやさしい」まち“なかつ”〉と位置づけ、新たに数値目標を盛り込むなど、実情に合った実現性の高い計画づくりに努めております。

今後とも「対話と協働」をキーワードに市民と行政が一丸となって、地域医療などの課題に全精力を傾注し、まちづくりに取り組む所存であります。つきましては、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

【基本構想体系】

都市像---山国川の「みず」と耶馬の「もり」のめぐみを受け、「ひと」が育ち、癒され、たゆみなく「もの」がうまれる、「人にやさしい」まち“なかつ”

●施策の大綱

○「ひと」と「自然」を守り、安全・安心で快適に住めるふるさとづくり

- ・安心して暮らせる地域医療体制づくり
- ・災害に強いまちづくり
- ・「みず」と「もり」を守り、育てるふるさとづくり
- ・安全・安心で利便性の高い都市基盤づくり
- ・安心と快適な生活環境づくり
- ・食育の推進

○「ひと」を育み、慈しみ、「ひと」に活力を与えるふるさとづくり

- ・健やかで「ひと」にやさしい「福祉の里」づくり
- ・「ひと」が育ち、文化・スポーツで活力あるふるさとづくり
- ・豊かな心、開かれた心で「ぬくもり」のあるふるさとづくり

○絶えず新しい「もの」が生まれ、豊富に集まり、「ひと」が集い、常に発展をめざすふるさとづくり

- ・新しい「もの」が生まれる活力あるふるさとづくり
- ・「もの」が生まれ、発展を続けるふるさとづくり
- ・「ひと」が集まり「交流」が盛んなふるさとづくり

○対話と協働によるふるさとづくり

- ・対話と協働ですすめるふるさとづくり